

博多 の ガタリ

第48号

博多情緒
たっぴんは
お菓子の
ロマンを
伝えます

株式会社 明月堂

に
あ
る
印

博多ものがたり

櫛田神社

夫婦恵比須大祭

古くより博多の氏神・総鎮守として信仰を集めている櫛田神社。地元の博多っ子からは「お櫛田さん」という名称で愛されています。櫛田神社といえは、博多祇園山笠を連想する方も多いと思いますが、櫛田神社の境内には全国的にも珍しい男恵比須、女恵比須を祀った夫婦恵比須神社があることをご存知でしょうか。今回は、この夫婦恵比須神社で毎年十二月初旬に行われる夫婦恵比須大祭を紹介します。



冬のおすすめ



日本、甘いぜんざいと謳われる
川端ぜんざい
『ぜんざい』は川端の心。
小餅の入った甘いぜんざいは、
昔ながらの博多の街のよき時代を
思い出させてくれます。



【川端ぜんざい】
博多名物「川端ぜんざい」は
戦前戦後を通して、親しまれ
ています。



商品番号 2811

川端ぜんざい

3袋入 1,575円(税込)

※レトルトパック入り。
※餅は真空パック入り。

詳しくは20ページをご覧ください。



くし だ じん じゃ 櫛田神社 め お と え び す たい さい 夫婦恵比須大祭

十二月二日(月)宵えびす／午後5時から午後11時まで
 三日(火)本えびす／午前10時から午後4時まで



恵比須会館の広間に集まった参加者。
 1回の式典の時間は約30分



櫛田神社の中にある夫婦恵比須神社



縁起物の魚子飯



会場内に飾られた夫婦恵比須の垂れ幕

夫婦恵比須神社

御祭神 事代主大神 玉櫛姫大神
 御祭所 大漁満足・商売繁盛
 夫婦内満・良縁成就
 大祭日 十月二日・三日(両日共千座式)
 男女二神の恵比須様を祀る珍しい
 神社です

本格的な寒さが訪れる十二月初旬。櫛田神社の境内にある夫婦恵比須神社では、一年を締めくくる神事・夫婦恵比須大祭が行われます。歴史は古く、一説では800年前から行われているという由緒あるお祭り。十二月二日に宵えびす、翌日三日には本えびすが行われ、来年の夫婦円満・商売繁盛・海上安全・大漁満足・開運招福をお願いします。

櫛田神社付近は その昔海岸だった

昔、櫛田神社の付近は櫛田浜という海岸があり、年中商いの船や漁船の出入りがあったそうです。沖から大漁で帰ってくる船のお祝いとして行われた、神と人間が一緒に食事をする儀式(神人同食)が起源と



大杯でいただく御神酒は格別

世話を焼くのが好きな人、
誰かが会話をかわかせる

式典の後はお楽しみのくじ引き大会
式典が終わると、もれなく賞品が当たるくじ引き

夫婦恵比須神社では、毎年12月2日と3日に「千座」、通称三日恵比寿のお祭りが行われます。2日は宵えびすで午後5時から午後11時まで、3日は本

厳かででありながら
ユーモラスなお祭

なり、それが現代にも引き継がれ、「千座」の神事として行われるようになりましした。「千座」とは、博多の古い歌言葉「千艘入ろう」「万艘入ろう」の艘が座に変わり、千座となったと伝えられています。この「千座」が行われるようになって以降、恵比寿さまは、商売繁盛、大漁祈願に加えて、夫婦円満の神様になりました。



恵比須神社入口で千座券
（500円・当日券のみ）を記入

えびすで午前10時から午後4時まで、それぞれ30分ごとに「千座」が行われます。まず櫛田神社内の恵比須会館の入口で千座券を購入。広間に入り番号順に席につくと、おそかな雰囲気の中、参加者一人ひとりにお祓いが行われます。
そして、御神酒が振舞われた後、その様相は一変。白衣・白袴をまとった世話人たちが大きな朱塗りの杯や鯛やアラの神輿を担ぎ、太鼓と手拍子に合わせて威勢のいい掛け声とともに、参加者の間を歩き回ります。鯛が登場するのは、この場所が漁師町で鯛を奉納したことが理由。大きな杯には18リットルが入るとのこと。最後は全員で「恵比須で一本」を行い、お開きとなります。

※福を呼び寄せるという意味を込めた締めめの儀式。

大会の始まり。純金のえびす像などが当たるくじ引きで、大当たりが出るたびにワッと歓声があがり、夫婦で参加すると記念品も出るそうです。ユーモラスでありながら、元氣ももらえそうな、このお祭りに参加して、くじ引きで運を試してみるのが楽しいでしょう。また、この時期は、境内にそびえる「櫛田の銀杏」といわれる御神木の大イチョウが見事に紅葉し、目を楽しませてくれます。この大イチョウは、高さ33メートル、幹周り16メートルの巨木で、櫛田神社の創建時（今からおおよそ千二百五十年前）にすでにその葉を茂らせていたといわれています。



大声で発表される
当たり番号に心はドキドキ



夫婦恵比寿神社
（櫛田神社境内）
福岡市博多区上川端1-11
TEL:092-291-2951
地下鉄「中洲川端駅」
「祇園駅」から徒歩約5分



飯盛神社 加冠の儀

成人の日を前に、福岡市西区の飯盛神社では鎌倉時代の元服式を再現した「加冠の儀」が行われます。この日の神社は朝から厳肅な雰囲気。

古式にのっとり、中世の衣装を身につけた男女が儀式を全うし大人の仲間入りを果たします。

平成26年で17回目を迎える加冠の儀は正月を彩る儀式として地元で定着しています

加冠の儀式場は向かう参道(さんみち)に始まります

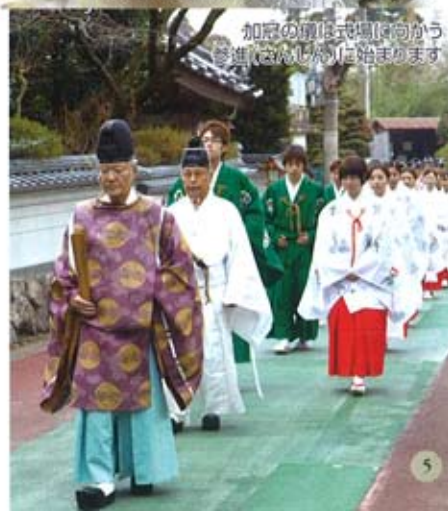
雄大な飯盛山を 御神体とする飯盛神社

飯盛神社は旧早良郡7カ村の惣社(特定地域内の神社の祭神を集めて祀った神社のこと)で、菅田別命・伊弉冉命・玉依姫命を祭神(神社に祀られる神)としています。背後に広がる雄大な飯盛山を御神体として、上宮、中宮、下宮の三所が祀られていましたが、現在残っているのは中宮、下宮のみ。

その起源は定かではありませんが、上宮跡である飯盛山の山頂からは永久二年(一一一四年)の銘を持つ瓦経(粘土板に鉋や鋸で経典を書き写して焼いたもの)が発見されており、古代にさかのぼる可能性も高いといわれています。

厳肅な雰囲気広がる 鎌倉時代の元服式

飯盛神社で加冠の儀が行われ始めたのは意外にも最近。平成二〇年





女子加冠の儀



儀式は張りつめた
雰囲気の中で
行われています



式場へ入場
徐々に緊張感が高まっています

ます。式場に向かう「参進」に始まり、縁起を祝う「熨斗三方の披露」が行われた後、大人の証としての冠を授かる「加冠の儀」がいわばクライマックス。その後、男女

飯盛神社の本殿（福岡市指定）は慶安三年（一六五〇年）建立。南北朝時代の宗風の石造狛犬（福岡県指定）、飯盛神社文書（福岡市指定）など、飯盛神社は貴重な文化財を所有しています。

また、その年の豊凶を占う粥占いは福岡県指定の無形文化財に指定されており、毎年10月9日に行われる「流鏝馬」は、福岡市の無形民俗文化

から行われ、今度で17回目を迎えます。加冠の儀は鎌倉時代の武家の子弟が大人の地位と役割を得る証として冠をかぶるという伝統の儀式。当日は古式にのっとり、おこそかに執り行われます。

男性は武家の正装にあたる直垂、女性は中世の晴れ着である水干を身にまとい、祭殿で一人ずつ烏帽子をかぶせてもらい、儀式に臨みます。

が杯を受け、静かに退場するまでの儀式ですが、参加した男女は慣れない所作に戸惑い、緊張の連続のようです。

数多くの文化財に 彩られた飯盛神社

文化財に指定されています。

さらに、飯盛山の東側の平野部の高木、吉武地区には弥生時代の甕棺墓群と倉庫建築の柱跡が発見された吉武高木遺跡があり、いわゆる「三種の神器」がセットで副葬されていた最も古い時代の墓が発見された場所となっています。



飯盛神社

福岡市西区大字飯盛609番地
TEL:092-811-1329
<http://www.iimorijinja.jp>
西鉄バス「飯盛」バス停より
徒歩約5分



平日も数多くの参拝者が訪れる飯盛神社

深発見ふくおか
その四十一

博多豪商三傑

島井宗室
神屋宗湛
大賀宗九

島井宗室の肖像画
(写真提供/福岡市博物館)



千利休と親交があり
福岡城築城にも協力した
島井宗室

博多は大陸にも近く、その地理的優位性を活かして果敢に海外へ乗り出していった数多くの博多商人がいました。今回はそんな博多商人の中でも「博多豪商三傑」と呼ばれ、今でも語り継がれている島井宗室、神屋宗湛、大賀宗九の波乱に富んだ人生を紹介します。

島井宗室は戦国時代から江戸時代にかけて活躍した博多豪商。織田信長の死後、台頭した豊臣秀吉の保護を得て、畿内から博多、さらには対馬に至る交通路を築き上げ、南蛮・朝鮮などを相手に貿易を



島井宗室が眠る福福寺
隣通寺には黒田官兵衛や黒田長政も眠っています
福岡市博多区千代4-7-79

神屋宗湛の屋敷跡。秀吉に厚遇された宗湛は秀吉の死後、秀吉を祀るため豊国神社を建立しました。福岡市博多区奈茂屋町1-17



神屋宗湛像

(神屋家蔵)
Figure of Kamiya Sotan
神屋宗湛像
가미야 소탄 상



豊国神社の立看板に掲載されている
神屋宗湛の肖像画

神屋宗湛が眠る
妙楽寺の墓。
福岡市博多区
御供所町13-6

大賀宗九が眠る幻住庵の墓。
福岡市博多区御供所町7-1



神屋宗湛の曾祖父にあたる寿貞は、二〇〇七年、ユネスコの世界遺産に認定された石見銀山の本格的な開発に携わった人物で、神屋家は宗湛以前から豪商の地位を築いていたといわれています。天正一〇年(一五八二年)、宗湛は天下人織田

信長に謁見し、豪商としての地位を極めようとしていますが、同年に起きた本能寺の変で信長が死去。努力は失敗に終わり、天正一四年(一五八六年)、再度上洛。畿内の諸大名や堺の大商人らと親交を深め地盤を固めていきました。

信長の死後、天下を取った豊臣秀吉の九州平定や朝鮮出兵の折に活躍したことにより、ようやく豪商としての地位を極めたといわれています。特に秀吉からの信任は厚く、「筑紫の坊主」の愛称で呼ばれるほどで、晩年の秀吉の側近として活躍しました。

武士から商人に転身し
大成功を収めた大賀宗九

大賀宗九は安土・桃山時代から江戸時代にかけて活躍した豪商ですが、大賀家は元々、大神の姓を名乗る豊後の武士で、大友氏に仕えていました。しかし、大友氏の没落後に商人に転身。福岡藩主となった黒田長政に気に入られ、シャム(現

ここまでは博多豪商三傑を紹介してきましたが、島井宗室と神屋宗湛は商人出身で天下人の秀吉の引立てを受けました。一方、大賀宗九は武士出身で福岡藩の黒田家から厚い信頼を得ていました。庇護を受けた君主は違いますが、国内外を舞台に商人としての並外れた才覚を発揮したこの3人は、戦国時代から江戸時代初期にかけて活躍した豪商としては全国でも五本の指に入っていたといわれています。

石見銀山の開発で すでに豪商だった神屋宗湛

行い栄華を極めました。千利休との親交もあり、「櫛柴」といわれる高価な茶器を所有していたことでも知られています。当時の名物茶碗は国一つと交換できるほどの価値があったそうです。

慶長五年(一六〇〇年)の関ヶ原の戦い後、博多が黒田氏の支配下に入ると、博多の再興や福岡城の築城に尽力。崇福寺にお墓があり、子孫にあてた「17ヶ条の遺訓」は商人の家訓として有名です。

信長に謁見し、豪商としての地位を極めようとしていますが、同年に起きた本能寺の変で信長が死去。努力は失敗に終わり、天正一四年(一五八六年)、再度上洛。畿内の諸大名や堺の大商人らと親交を深め地盤を固めていきました。

信長の死後、天下を取った豊臣秀吉の九州平定や朝鮮出兵の折に活躍したことにより、ようやく豪商としての地位を極めたといわれています。特に秀吉からの信任は厚く、「筑紫の坊主」の愛称で呼ばれるほどで、晩年の秀吉の側近として活躍しました。

在のタイ王国)行きの渡航朱印状を持つ幕府公認の貿易商となり、黒田家の御用商人として活躍しました。

大賀宗九の肖像画
(写真提供: 福岡市博物館)



名物店舗紹介

明月堂のお菓子は、主にショッピングセンター内に店舗を構える直営店をはじめ、デパート、空港、サービスエリア、さらには博多駅構内のキヨスクなどでも売られています。今回は、様々な店舗の中でも、電車や車を利用されるお客様が訪れる2つの人気店舗をご紹介します。

博多デイトス1号店



「いつも笑顔で」がモットーの博多デイトス1号店。
新幹線を利用される方が数多く訪れています



「お客様の要求を瞬時につかむことが大切」と語る
販売員の柿元ちはるさん

ゆつくり商品選びができる 博多デイトス1号店

博多デイトス1号店はJR博多駅の筑紫口にあり、新幹線を利用されるお客様にとっては非常に便利な場所にあります。

販売員の柿元ちはるさんは、この博多デイトス1号店で働き始めて丸2年。働き始めた頃と今とでは、お客様の反応も変わってきたそうです。「今は以前と比べて、〈博多通りもん〉の認知度が上がりましたから、迷わずお買い求めになるお客様が増えました」。博多デイトス1号店では「博多通りもん」と並び、「博多じまん」も人気が高いとの事。また、秋口から冬にかけての寒い時期は「芋っぼ」の人氣が急上昇するそうです。柿元さんが個人的に好きなお菓子は？と尋ねたところ「私は〈きび満作〉が好きです。黒

古賀SA店はエスカレーターを上り、
すぐ正面に位置しています



古賀SA店

サービスエリア

女子力全開 毎日がアグレッシブ

博多デイトス1号店は通常3人で対応していますが、この博多デイトス1号店での接客はいわば氷山の一角。毎日、常時10人前後の販売員が

シフトを組み、博多駅構内にある約30店舗のキヨスクを回り、少なくとも商品の補充にあたっています。これが意外にも力仕事で、柿元さんも「腕や太ももに筋肉がついてしまふんですよ」とさりとそその大変さを語ってくれました。

博多デイトス1号店の販売員は、お客様に接する時も、裏方として商品を運ぶ時も常に一生懸命。これか

からも博多駅を訪れるビジネスマンや観光のお客様にお菓子をを通じて幸せなひとときをお届けします。



商品ケースのガラスは定期的に清掃。
常に清潔な店舗環境を心がけています

ドライバーにも 大人気の古賀SA店

古賀SA店では、「博多通りもん」をはじめ、「博多しまん」や「博多っ子」が販売されていますが、「一番人気は何といつても「博多通りもん」。若い人からご年配の方まで大人気で、2箱、3箱とまとめ買いされるお客様も多くおられます。「博多通りもん」は福岡県外では販売されていないため、その美味しさを伝え聞いた遠方のお客様が名指しでお買い求めになるケースも多く、陳列している商品もすぐに売れてしまうため、1日数回補充をしなくてはならない状況です。

年間を通じて一番忙しくなるのは、お盆や年末年始の帰省ラッシュやUターンラッシュの時期で、今年も「博多通りもん」の美味しさが福岡から日本各地に届けられることでしょう。

販売コーナーは写真の入口階段を右手奥の2カ所

「博多通りもん」の名前の由来

博多っ子の陽気な祭り

「博多どんたく」

毎年、五月三日・四日に行われる博

多どんたく。初夏の博多を彩る祭りとして、博多っ子に限らず日本人々に愛されています。

祭りのパレードでは、さまざまなグループが賑やかに演舞を披露します。その先陣を斬るのが博多松離子の「行で、これが博多どんたくの起源だとされています」。

松離子とは、室町時代の京都の年賀行事。人々が得意の芸能を演じな

がら街を練り歩いたものです。博多での松離子は治承三(一一七九)年に始まったと、貝原益軒が筑前国続風土記に記しています。

博多松離子はその後、さまざまな変遷を経て、シャレっ気の多い博多町人が無礼講のあいさつ回りとして発展させました。そして明治時代、一時禁止されていた博多松離子を復活させる際に用いたのが「どんたく」という名称です。これは、明治時代の流行語であるオランダ語の休日「ゾントーク(Noonrust)」がなまった言葉。以来、博多どんたくは「西洋休日」と

しても親しまれてきました。

昭和二十二年(一九四六)年には、焼け野原の博多を「復興しようやー」の掛け声のもと、あり合わせの衣裳や楽器で瓦礫の道を行脚。このときの三味線や太鼓の響きが、復興への勇気を与えました。博多っ子にとって復興の証でもあるどんたくは、平成十七(二〇〇五)年の福岡西方沖地震の際にも、人々の心に希望の光を灯しました。

「ぼんち かわいや
ねんねしな
品川女郎衆は十匁
十匁の鉄砲玉
玉屋がかわい
スッポンボン」

博多どんたくで唄われるお離子





モンドセレクション
13年連続金賞受賞
2007～13年最高位
特別金賞を受賞

西洋
博多通りもん
SEIYO KYUJITSU
HAKATA TORIMON

どんたくから名づけられた
「博多通りもん」

しゃもじや三味線、笛や太鼓をうち鳴らし、面白楽しく、お囃子を唄ったり、踊ったり。どんたく衣裳に身を包んで、街を練り歩く人々の姿形は、古くから「通りもん」と呼ばれ、今でもどんたくの名物として、祭りをおおいに盛り上げています。

ミルクの香りのするハイカラな衣裳で身を包み、餡がしっとり練りあげられた、明月堂のおまんじゅうは、まさに「博多通りもん」の名にぴったり。明月堂の西洋和菓子もまた、福岡・博多の名物として、多くの人に親しまれています。

「饅頭」と「博多祇園山笠」

博多に夏を告げる博多祇園山笠は、博多どんたくとともに福岡を代表する祭りです。

その起源は鎌倉時代、聖一国師という僧侶が博多の地に流行っていた疫病を鎮めるため、施餓鬼棚に乗って町にくりだし、甘露水（祈禱水）をまいたことだと伝えられています。

この聖一国師こそ、博多に饅頭を伝えた人物。明月堂のお菓子は、こういった博多の歴史や伝統、博多っ子の心意気に彩られています。



山笠は昇き山の他、美しい人形を高く飾り付けた「飾り山」もある。



博多にわかのお面

モンドセレクション 13年連続金賞受賞 '07~'13年最高位 特別金賞を受賞

第40回(2001年)ポルトガル、第41回(2002年)フランス、第42回(2003年)ベルギー・ブリュッセル、
第43回(2004年)オランダ・アムステルダム、第44回(2005年)ベルギー・ブリュッセル、
第45回(2006年)チェコ・プラハ、第46回(2007年)スペイン・バルセロナ、
第47回(2008年)オーストリア・ウィーン、第48回(2009年)イタリア・ベニス、
第49回(2010年)ドイツ・フランクフルト、第50回(2011年)ベルギー・ブリュッセル、
第51回(2012年)ギリシャ・アテネに続き、
第52回(2013年)スウェーデン・ストックホルムでも連続受賞。

明月堂のお菓子には、博多の心がこもってーね。

明月堂のお菓子には博多弁や博多の風物が

名前として使われていると聞いて、最初はびっくりしました。

そして、僕の中の博多っ子の血が嬉しく騒いだことを覚えてます。

そんなわけで、明月堂のお菓子には愛着がありますね。

これからも、どしどし博多ならではの

文化を伝えるお菓子を作ってもらって、

多くの人に博多のことを知ってもらえたらいいですね。



Hasegawa Haseo

長谷川 法世

漫画家 はせがわほうせい

博多町家ふるさと館 館長
1945年福岡市博多区生まれ。
代表作は76年から8年間連載した
「博多っ子純情」。
NHK朝の連続テレビ小説
「走らんか!」では原案を担当した。

第24回全国菓子大博覧会お菓子の最高最賞

名誉総裁賞受賞

第24回全国菓子大博覧会お菓子の特別賞

茶道家元賞受賞(表千家)

第25回全国菓子大博覧会

名誉総裁賞(表千家)・橘花栄光章受章

第26回全国菓子大博覧会

茶道家元賞受賞(表千家)・橘花栄光章受章



傑作まんじゅう

博多通りもん

博多に伝わる和菓子の伝統に、生クリームやバターを始めとする西洋菓子の素材を取り入れた博多通りもんは、まさに博多っ子が愛する遊び心や洒落っ気を、その製法にこめた博多ならではのお菓子です。博多を中心に福岡近郊で販売しております。

商品番号 1716

博多通りもん

6個入 六三〇円(税込)



商品番号 1721

博多通りもん

10個入 一、〇五〇円(税込)



商品番号 1722

博多通りもん

15個入 一、五七五円(税込)



商品番号 1723

博多通りもん

20個入 二、一〇〇円(税込)



商品番号 1724

博多通りもん

30個入 三、一五〇円(税込)



商品番号 1726

博多通りもん

40個入 四、二〇〇円(税込)



※木箱入もございます。
商品番号 1725

博多通りもん

40個入/木箱 五、〇〇〇円(税込)

博

多らしさにこだわる明月堂のお菓子は、その多くが博多になじみのある地名や方言、遊び、祭りなどをもとに名づけられています。そのひとつひとつのお菓子から、ほんのり博多の下町情緒が香ります。



【博多通りもん】

5月3・4日に行われる博多どんたく。市民の祭りに、どんたく衣装を身にまとい三味線・笛太鼓でお囃子をする人達を「通りもん」といいます。

世界が選んだ博多の名菓

博多通りもん

「モンドセレクション」

13年連続金賞受賞

'07'13年

最高位 特別金賞を受賞



お菓子の品質向上を目的に欧州共同体とベルギー経済省が1961年から行っている世界食品コンクールです。味覚、包装、衛生などの評価を行い、優れたものに金賞が与えられます。博多通りもんは、2001年のポルトガルでの金賞受賞以来、今回のスウェーデン・ストックホルムで13年連続受賞、さらに最高位となる「特別金賞」を7年連続受賞いたしました。



写真は詠笑庵3,150円(税込)です。
※季節により詰合わせの内容が変わることがございます。
※包装形態が変わることがございます。

箱を開けると、

博多の歴史、文化、情緒が広がります。

博多西洋和菓子ぞろえ

えい しよう え

詠笑恵

箱を開けるとそこから、

昔懐かしい博多の方言や

人情味あふれる伝統、文化の

物語があふれ出していきます。

明月堂よりすぐりの

人気の博多西洋和菓子が、

四季折々の表情を見せ、

皆様を愉しませることでしょう。



商品番号 1412

博多西洋和菓子詰合わせ

詠笑恵

一、五七五円(税込)



商品番号 1413

博多西洋和菓子詰合わせ

詠笑恵

二、一〇〇円(税込)



商品番号 1414

博多西洋和菓子詰合わせ

詠笑恵

三、一五〇円(税込)



商品番号 1415

博多西洋和菓子詰合わせ

詠笑恵

五、二五〇円(税込)



【詠笑恵】

博多では、祝宴や酒宴で指名された方の合図で、祝い目度々を唄いはじめます。その歌の中で、博多んものの心意気を伝える、明るく力強い節回しや囃子が「エイ ショーエ」です。



にぎやっ菓集

かねてよりお客様からのご要望が多かった
博多西洋まんじゅうの詰め合わせを
ご用意しました。

弊社の中でも人気度NO.1の

「博多通りもん」を始め「博多じまん」、
「きび満作」をにぎやかに揃えております。
それぞれの味わいをお楽しみください。



商品番号 1513
博多西洋まんじゅう集
にぎやっ菓集

博多通りもん 10個
博多じまん 5個
きび満作 5個

二、一〇〇円(税込)



商品番号 1514
博多西洋まんじゅう集
にぎやっ菓集

博多通りもん 18個
博多じまん 6個
きび満作 6個

三、一五〇円(税込)



博多の歴史を
お菓子に託した新しいおまんじゅう

博多じまん

良質の小豆だけを使って
てぼう豆を加えてねりあげた餡は、
自然な甘さとやさしい風味を
醸し出します。

博多の町に引き継がれる粋な心を、
ぜひご賞味ください。

つぶ
立て



第24回全国菓子大博覧会お菓子の最高位賞
名誉総裁賞受賞

商品番号 1916

博多じまん

6個入 六三〇円(税込)



商品番号 1921

博多じまん

10個入 一、〇五〇円(税込)



商品番号 1922

博多じまん

15個入 一、五七五円(税込)



商品番号 1923

博多じまん

20個入 二、一〇〇円(税込)



【博多じまん】

伝統の「博多じまん」といえば博
多人形・博多織。七百年の伝統
の歴史を織りこんだ博多織は、
今もその美しさは変わらず、白
い生糸からつくり出される「博
多帯」は、さまざまな人から愛さ
れた逸品です。



よもぎの香りと粒あんの甘さが
博多の野辺の思い出を伝えます

畔摘みもち

国産のよもぎを

たっぷりと使った餅の中に

こだわりのあずき餡を入れて

作ったのが「畔摘みもち」です。

よもぎ餅の香りと味を

お楽しみください。

商品番号 1106

畔摘みもち

6個入 六三〇円(税込)



商品番号 1121

畔摘みもち

10個入 一〇五〇円(税込)



商品番号 1122

畔摘みもち

15個入 一、五七五円(税込)



商品番号 1123

畔摘みもち

20個入 二、一〇〇円(税込)



畔摘みもち



【畔摘みもち】

春の博多、那珂川の川辺や田圃の畔道には、若草色に芽吹いたよもぎが至る所に芽を出していました。昔は畔で摘んだよもぎで作った「草餅」を楽しみにしていました。

「ぜんざい」は川端の郷。
小餅の入った甘いぜんざいは、
昔ながらの博多の街のよき時代を
思い出させてくれます。



日本一、甘いぜんざいと謳われる

川端ぜんざい

- 商品番号 28801
1袋 四八〇円(税込)
- 商品番号 28111
3袋入 一五七五円(税込)
- 商品番号 28112
5袋入 二、五二〇円(税込)
- 商品番号 28113
8袋入 三、九九〇円(税込)



※レトルトパック入り。
※餅は真空パック入り。

素焼つばから取り出した頃の昔懐かしい味

博多つば焼風

芋っぽ

- 商品番号 16006
6個入 六三〇円(税込)
- 商品番号 16211
10個入 一、〇五〇円(税込)
- 商品番号 16222
15個入 一、五七五円(税込)
- 商品番号 16233
20個入 二、一〇〇円(税込)



(つば焼釜)



【芋っぽ】

博多の駄菓子屋さんではその昔、素焼の壺の中に針金で吊した芋を入れて焼いた、ほっくりとおいしい焼芋(芋っぽ)を売っていました。

芋本来の美味しさを、香ばしさを、
ほくほく感を大切に、素材も製法も栽培されている
とつま芋にこだわりました。
芋の皮まで使い、
その美味しさを「芋っぽ」に凝縮しました。
博多の秋冬の風物詩を
いつでも味わっていただけます。



【川端ぜんざい】
博多名物「川端ぜんざい」は戦前戦後を通して、親しまれています。



めんたいを入れて焼き上げた博多のバイ

博多っ子

博多の名物辛子めんたいを
バイに入れてパリッと焼き上げました。
秘伝のタレと薬味を加えたピリツとする辛さと
めんたいの豊かな風味をお楽しみください。



商品番号 12212

博多っ子

6個入

六三〇円(税込)



商品番号 12311

博多っ子

10個入 一、〇五〇円(税込)



商品番号 1232

博多っ子

15個入 一、五七五円(税込)



商品番号 1233

博多っ子

20個入 二、一〇〇円(税込)



※一段詰めになっております。



【博多っ子】
ピリツと粋で、遊び心と洒落つけ
たっぶりの博多っ子。その博多っ
子の氣質がそのままお菓子にな
りました。

かすていらをひとつひとつ

「文字焼」アツくみました。

手間をかけた上品なカステラけーきです。



西中洲 貴賓館ろまんす

どら焼の皮で包んだカステラけーき

商品番号 0211
10個入 一、一五五円(税込)

商品番号 0212
15個入 一、七三二円(税込)

商品番号 0213
20個入 二、三〇〇円(税込)



※箱詰めの数、金額が変更になる場合があります。

【西中洲貴賓館ろまんす】

博多の中洲から福岡であい橋で那珂川を渡ると見える建物です。昔の教育庁の跡で、明治・大正ロマンを偲ばせます。



卵白(メレンゲ)と

アーモンドプードルで作った白溶けの良い生地、

珈琲(コーヒー)クリームをサンドした、

ちよと大人の香りのするお菓子です。



ひと昔前の博多を偲ばせる

懐かしくてモダンな味わい

博多モダンカフェ

商品番号 0521
7個入 一、二六〇円(税込)

商品番号 0522
14個入 二、五二〇円(税込)



商品番号 0524
22個木箱入 三、八八五円(税込)

※箱詰めの数、金額が変更になる場合があります。

【博多モダンカフェ】

ひと昔前の博多。街には赤レンガ作りの洋館やハイカラな喫茶店が立ち並び、人は洋風なスタイルに身を包んで歩いていた時代。そんなレトロでモダンな当時の面影を残す博多の街の風情を、お菓子に仕立てました。



「弓なりや 子の手にもたす さとうきび」
 百合山羽公の俳句に詠まれるように
 さとうきびは子どもが喜ぶ甘い食べ物でした。
 幼き日のやさしい想いを込めて
 ほろり、ふくら、蒸し饅頭に仕上げました。
 むかし懐かしい深い味わいを
 ぜひご賞味ください。



さとうきびから採れる黒糖を
 皮と小豆餡に練り込んだ蒸し饅頭

きび満作

- 商品番号 21106
 6個入 六三〇円(税込)
 商品番号 21121
 10個入 一〇五〇円(税込)
 商品番号 21122
 15個入 一五七五円(税込)
 商品番号 21123
 20個入 二、一〇〇円(税込)



【きび満作】

南国特産「さとうきび」は昨月(1月)・弥生(3月)頃にかけて収穫されます。まず、茎に含まれる甘い「きび汁」を絞り出し、直火釜にて長時間かけて煮詰め、黒砂糖が出来上がります。この黒砂糖独特の風味を織り込んでお作りしたのが「きび満作・黒糖まんじゅう」でございます。思い出の中にある昔懐かしいこのひと品、ご賞味いただけましたら幸いです。



『やぶれ饅頭』は、昔より博多の庶民の味としてこよなく愛されてきました。その製法に習い、粒たつぷりの『うぐいす餡』を、山芋をふんだんに使った『薯蕷』生地で包んだお饅頭です。



うぐいす餡たつぷりの純和風蒸し饅頭

博多藪あん

- 商品番号 04211
 6個入 六三〇円(税込)
 商品番号 04311
 10個入 一、〇五〇円(税込)
 商品番号 0432
 15個入 一、五七五円(税込)
 商品番号 0433
 20個入 二、一〇〇円(税込)



【博多藪あん】

野山に住む鶯のことを「藪鶯(やぶうぐいす)」といいます。鶯豆を使った餡なので「藪あん」となりました。

また、昔は奉公人のお休みを「藪」といって楽しみにしていたことから、庶民の楽しみを、その味にこめたということにも由来しています。



この「明月堂かすていら」は素材のふくよかな風味を活かして焼き上げております。

「懐かしき旨み」を「堪能くださいませ。」



(1本を10切れにスライス済)

それは遠い昔、憧れの味。
ひと切れの母の優しさ。

明月堂かすていら

商品番号 0106

1本詰 一、二六〇円(税込)

商品番号 0111

2本詰 一、五二〇円(税込)

商品番号 0115

3本詰 三、七八〇円(税込)

商品番号 0121

5本詰 六、三〇〇円(税込)



【明月堂かすていら】

卵たっぷりのかすていらは、ほのほとした懐かしい味わい。しつとりとまろやかな風味が、お口の中に広がります。



発酵バターを使い、

より芳醇な香りと味に焼き上げました。

懐かしい風味の中に、新しいセンスを含んだ

きめ細やかな味わいを存分にご堪能ください。



伝統の技に現代の感性を折り込んだ
南蜜バターカステラ

蘭

商品番号 1011

9個入 一、二六〇円(税込)

商品番号 1012

12個入 一、六八〇円(税込)

商品番号 1013

18個入 二、五二〇円(税込)



※箱詰め個数、金額が変更になる場合があります。

【南蜜バターカステラ 蘭】

「蘭」というのは「阿蘭陀(オランダ)」の略語です。〈博多どんたく〉がオランダ語の「ソントーク(休日)」に由来するように博多とオランダにある縁のようなものを銘にしました。



蜂蜜と鶏卵をたっぷり使った
高級生地と小豆餡で
美味しさにこだわりました。



こだわ素材の高級どら焼

上川端通り5-104



商品番号 0611
8個入 一、三六五円(税込)
商品番号 0612
12個入 二、一〇〇円(税込)
商品番号 0613
16個入 二、七三〇円(税込)

※箱詰めの数、金額が変更になる場合があります。

【上川端通り5-104】
明月堂の創業の地「川端店」が
上川端通りにあり、住所が「上
川端町5-104」。
そこで当店自慢のどら焼に、看
板商品として、この名前を付け
ました。



石臼で挽いた小麦粉、砂糖、蜂蜜などを使い、
独自のカステラの技術で焼き上げました。



石臼挽き丸ぼうろ
は、どら焼

宮崎ぼっぼ

商品番号 0321
18個入 一、四一七円(税込)
商品番号 0322
27個入 二、一〇〇円(税込)
商品番号 0323
36個入 二、八三五円(税込)



※箱詰めの数、金額が変更になる場合があります。

【宮崎ぼっぼ】

博多の伝統工芸品「博多曲物」
は、宮崎宮の調達品としても
用いられ、松竹梅と鶴亀を描
いた脚つきの四角い祝い膳は
「ぼっぼ膳」といわれています。
さらに、そこに宮崎宮の鳩を
イメージして「宮崎ぼっぼ」と
名づけました。





博多にわかのお面

津屋崎のモマ笛



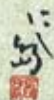
太宰府天満宮のうそ



宮崎八幡宮の鳩笛



馬出の曲物



明月堂
Web

博多ものがたり

明月堂サイト
トップ画面→

明月堂のホームページにどうぞ。

※インターネットでのご注文はクレジット決済ができます。

<http://www.meigetsudo.co.jp>

E-mail info@meigetsudo.co.jp

検索サイト <http://www.meigetsudo.net/m/>

楽天市場
↓トップ画面



◎宅配便のご案内

(税込)

九州	420円	中部・北陸	735円	北海道	945円
中国	525円	関東・信越	840円	沖縄	945円
四国・関西	630円	東北	945円		

◎お申し込み方法

●ご注文専用

フリーコール

■電話による受付

(受付時間 午前9時～午後5時)

TEL 0120-158-127

または 092-411-7777 (有料)

■ファクスによる受付
(24時間)

FAX 0120-105-867

お客様の郵便番号、住所、氏名、
電話及びFAX番号を記入の上、
当社にFAXしてください。

●お支払いは入金後発送又は代金引換

【入金後発送】

■銀行振込

西日本シティ銀行 福岡支店(当座)8843

(株)明月堂宛

※振込手数料は、お客様のご負担となります。

■郵便振替

01780-0-79770 (株)明月堂宛

※振替手数料は、お客様のご負担となります。

■コンビニ決済

※指定振替用紙からのみお支払いいただけます。

■コレクト便(代金引換)

配達時に商品とお引き換えに、代金をお支払い頂く早くて便利なシステムです。

商品のご発送

デパート

- 天神岩田屋店.....(092)721-1111(代)
- 博多大丸店.....(092)712-8181(代)
- 福岡三越店.....(092)724-3111(代)
- 博多阪急店.....(092)461-1381(代)

直営店

- 本社売店.....(092)411-7777
- 川端店.....(092)281-1058
- 博多駅名店街マイング店.....(092)441-6445
- 博多デイトス1号店.....(092)441-0386
- 博多デイトス2号店.....(092)474-2559
- ダイエー笹丘店.....(092)761-2152
- イオン原店.....(092)833-4414
- ダイエー福重店.....(092)884-0868
- サンリブ木の葉モール橋本店.....(092)811-5778
- 浜浜デイトス店.....(092)881-3661

直営店

- ショッピングモールマリナタウン店.....(092)885-8103
- イオンモール福岡伊都店.....(092)805-8877
- ゆめタウン博多店.....(092)632-3121
- イオンモール香椎浜店.....(092)674-2522
- ハローデイ新宮店.....(092)963-5151
- イオン福岡店.....(0940)38-5118
- ゆめタウン宗像店.....(0940)33-0010
- サンリブくりにと宗像店.....(0940)33-7000
- イオン福岡東店.....(092)612-3088
- イオン福岡店.....(092)939-7277
- イオン大野城店.....(092)589-4711
- ザ・モール春日店(西友春日店内).....(092)595-0020
- ゆめタウン筑紫野店.....(092)928-5556
- イオン筑紫野店.....(092)918-3015

博多通りもんは下記売店でも販売しております。

空港(国内・国際)売店

- 岩田屋エアポートショップ店
- 博多大丸エアポートショップ店
- 福岡玉屋エアポートショップ店
- 全日空商事福岡空港売店
- JALUX福岡空港売店
- 福岡空港商事売店免税ショップ
- ベイス福岡 菊ひら売店
- 福岡空港国際線売店

その他の売店

- キヨスク(博多駅構内売店)
- 博多バスターミナル売店
- 高速道路売店(基山・広川・金立・古賀・山田SA)
- 天神バスセンター売店
- ふくや売店(一部)
- キャナルシティ売店
- 福岡バルコ売店

※店舗により、取扱商品が異なります。

創業八十四周年。
おかげ様で「博多通りもん」は
二十周年。

博多西洋和菓子

MEIGETSUDO

株式会社 明月堂

〒812-0892 福岡市博多区東郡珂2丁目11番23号
TEL092-411-7777 FAX092-411-7878

明月堂ホームページ <http://www.meigetsudo.co.jp>

E-mail info@meigetsudo.co.jp

2013.12-2014.3<第48号>
冬の博多ものがたりです

博多通りもん

検索